

第1回匝瑳市内循環バス利用向上対策委員会
会議結果概要

- 日 時 平成24年1月18日（水）午後2時～2時50分
- 場 所 匝瑳市民ふれあいセンター 2階視聴覚室
- 出席者 木村委員（代理：藤）、野澤委員、渡辺委員（代理：福士）、
大木（公）委員、柏熊（明）委員、小林委員、吉川委員（代理：加瀬）、
石井委員、平山委員、大関委員、越川委員、柏熊（操）委員、
大木（好）委員、日色委員、秋山委員、佐藤委員、塚本委員、
日下委員、熱田委員、片岡委員、伊藤委員
- 市出席者（事務局・環境生活課） 鈴木課長、鈴木主幹、向後主査補
- 欠席者 鵜澤委員、田委員、嶋田委員、川野委員

<p>1 開会 事務局</p>	<p>午後2時 開会宣言の後、会議次第に沿って進行することを説明 委員会規則の説明を行い、委員の過半数が出席していることを確認し、会議が成立していることを説明</p>
<p>2 委嘱書交付 事務局</p>	<p>事前に委嘱書を各席に配布してあることを説明し、委嘱書の確認を依頼</p>
<p>3 市長挨拶 太田市長</p>	<p>皆様明けましておめでとうございます。</p> <p>本日は、年明けのお忙しい中にも関わらず、市内循環バス利用向上対策委員会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本来であれば会議に先立ちまして委嘱状の交付ということで、個々に委員さん方にお渡しするところがございますけれども、時間の関係上、省略させていただきましたことについて御理解をよろしくお願いいたします。</p> <p>また、皆様方におかれましては日頃から市内循環バスの円滑な運行及び市の行政に対しまして御指導御協力賜っておりますことを厚く御礼申し上げる次第でございます。</p> <p>市内循環バスは、平成9年に運行を開始して以来、市民の皆様特に中学生、高校生あるいは高齢者などの交通弱者の重要な手段として運営をしているところであり、14年を経過するなかで、社会情勢も変化、市民要望なども踏まえまして何度か改正を行ってきたところでございます。</p> <p>これからも市民の皆様にとって利用しやすく、また、多くの皆様から利用される交通手段でありますよう、利便性の向上に努めてまいります。</p> <p>そして、本日の会議におきましては利便性の向上という目的を持ちまして、改正案について御検討いただくということでございます。</p> <p>これは、いままでの経過、運行の状況、そしてまたアンケートも行っての提案ということでございます。</p> <p>各委員におかれましては、慎重に御審議をいただきますようお願いを申しあげまして私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>1年間どうぞよろしくお願いいたします。</p>

事務局	太田市長は所用のため、これもちまして退席させていただきます。
太田市長	申し訳ございませんがよろしくお願いいたします。 《市長退席》
4 自己紹介	《各委員、事務局の順に自己紹介》
5 委員長選出 事務局	委員会規則に基づき、委員の互選により委員長を定めること、委員長が議長になることを説明し、選出方法を図る。
委員	事務局一任で。
事務局	事務局一任でよろしいでしょうか。
委員	《異議なしとの声あり》
事務局	それでは、従前から利用者代表の立場で区長会の中から区長会長に委員長をお願いしているところであります。皆様に御了解いただければ匝瑳市区長会会長、野田地区の区長会長であります熱田孝雄様をお願いいたしたく存じますがいかがでしょうか。 《各委員から拍手及び異議なしとの声あり》 《野田地区区長会長 熱田委員が委員長に決定》 熱田会長には後ほど、7の議題から議事の進行をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。
6 報告 事務局	市内循環バスの現状について及び利用状況調査の結果について配布資料（資料1、2）に基づき説明 《説明の詳細は省略》
事務局	ご不明な点があればお伺いいたします。
委員	利用人数についてですが、延べ人数になっていると思いますが、実際は何人の人が利用しているか分かりますか。 たとえば行ったら帰ってくるで半数になるわけです。同じ人が何度も使っていることもあります。実際に何人の人がバスを使っているか知りたいと思います。

事務局	御質問の内容は資料1についてでよろしいでしょうか。
委員	はい。
事務局	純粹に利用している人数というのは把握しておりません。利用者数の中には、一人の方が行きと帰りで2回利用していただいているケースも多々ありますので、延べ人数を掲載してあります。
委員	6路線合計でこれだけだと1路線にしたらかなり少ないですね。
事務局	1路線ですと年間1万人強です。
委員	延べ人数ですよ。
事務局	はい。
委員	同じ人が何回乗っているかは、わかりませんよね。
事務局	はい。週2～3回乗車している、ほぼ毎日乗られている方が半数以上います。また、これらの方は往復で利用している方が多い状況ですので、純粹に何人乗車したかは把握しておりません。
委員	たとえば10人いて往復乗車したら20人となりますよね。
事務局	はい。20人とカウントされます。 補足となりますが、今回の利用状況調査では資料に記載のとおり、一度調査した方については再度調査せず、重複を避け実人員で389人ということで調査をさせていただいております。 たとえば月曜日と火曜日に調査する場合、同じ調査をすることになりますが、同一人に対し調査を2度行わない様確認の上調査を行いました。今回の調査はこのような方法で実施しましたので、御理解をいただければと思います。
7 議題 事務局	委員会の規則に基づき、委員長が委員会の会議の議長を務めることを説明。 事務局の案内により、熱田委員長が議長席へ移動

委員長	7の議題(1)運行見直しについて、事務局の説明をお願いします。
事務局	事務局案として(仮称)一日自由乗車券及びダイヤの一部改正の提案及び提案理由について説明を行った。 《配布資料に基づいて説明》
委員長	事務局からの説明が終わりました。質疑に入ります。挙手の上発言をお願いします。
委員	まず1点目、一日自由乗車券の導入ですけれども、趣旨としてはわかりますが、導入時期をいつ頃としているのかの考え方、ダイヤの一部改正についても、いつから改正をするのか一定の目的がありましたらお願いします。
事務局	導入時期につきましては、平成24年4月1日を予定しております。本日、御了解いただきました内容で、平成24年4月1日の改正に間に合うように手続きを行っていきたいと考えています。
委員	先ほどの質問に関連しますが、資料1の中の委託料を見ますと、平成22年度が66,256,003円ということがございます。なぜ、先ほど人数を聞いたかと申しますと1人にかかる金額はいくらになるのかなということが知りたかったわけです。それで、この委託費は市で出しているものですね。税金で支払っているわけですね。1人に掛かる金額というのは、ぜひ聞きたいなと思います。
事務局	平成22年度につきましては、委託料から利用人数を割りまして1人当たり約937円掛かっています。
委員	それは延べ人数ですか。
事務局	はい、延べ人数の一人当たりの額です。
委員	そうしたら決まった人数に掛かる金額とは違いますよね。
事務局	委託料を利用頂いた延べ人数で割ったものです。

委員	毎日使っている人には、ものすごい金額が掛かっている。
事務局	<p>1人当たり937円掛かっているという計算です。</p> <p>実数として、何人利用されているかにつきまして、現状毎月JRバス関東、千葉交通から利用者の状況の報告を頂いていますが、実体として実数がかめないということについては、御理解を頂きたいと思います。</p> <p>それから委託料の経費について、平成17年度以降の資料がありますが、平成17年度から増えている状況であります。実際問題として、この間のいろいろな改正等がございます。改正の中で当初、八日市場市のみであった。その後合併により、運行の本数が5路線だったのが6路線になった、1日の回数が5便から6便に増えたという状況でございます。</p> <p>結果的に利用者が少ないということもあろうかと思いますが、私どもとしましては、少しでも利用者の増を見込みたいということで、今回ダイヤの改正を行いたいというように考え、提案をさせていただきました。</p> <p>また、高齢者の方などで、2路線を乗り継いで医療機関に掛かるという方については往復800円掛かるという状況であり、結果として通院の回数を減らしている方もおられるかと思しますので、本来通院すべき回数を通院頂けるということも勘案した中で、一日自由乗車券を導入していきたいということでもありますので、御理解を頂ければと思います。</p>
委員長	<p>ほかに意見はありますか</p> <p>意見が無いようでございますので、一日自由乗車券の導入、ダイヤの一部改正について平成24年4月1日より改正することについて、賛成の方の挙手を求めます。</p>
委員	<p>《全委員賛成》</p>
委員長	<p>全員賛成でありますので、事務局案のとおり改正することで協議がまとまりました。</p> <p>その他、何か意見はありますか</p>
委員	<p>1点よろしいでしょうか。教えていただきたいんですけども、今回調査したのは10月、11月ですけども、前回の調査も同じくらいの時期なのででしょうか。</p>

事務局	<p>前回の調査は平成21年9月に実施しました。時期としてはだいたい同じ時期です。</p>
委員	<p>前回の調査でも、意見は同じような傾向なのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。頂いた御意見としては2年前の調査と今回の調査でだいたい同じような傾向となっています。</p>
委員	<p>夏に調査を実施した場合と冬に実施した場合では、意見が違ってくるのでしょうか。</p> <p>当然夏だと、もっと遅くしてほしいなどの意見があると思いますが、調査の方法について考えはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の調査の方法について、まず調査日の決定が学生に乗っていただいているときに実施したかったということがありまして、夏休みなどの長期休暇の期間では、御意見が聞けませんので、学生が乗車している時期で行いました。</p> <p>長期休暇の時期に調査を行えば、また違った傾向になるかと思えます。</p> <p>また、5月、6月など、日が長い時に調査を行えば6便を遅くしてほしいなどの意見が多くなる可能性も考えられます。</p> <p>次回調査時には、その時期的な点についても考慮して調査したいと思えます。</p> <p>現在の路線の中では、栄・須賀西循環の利用者が多く、今年度は学生が非常に多い状況です。来年度以降高校3年生が卒業したあと、新1年生がどれだけ利用するかは把握していません。その年によって高校生の利用が多い少ないというのがあります。</p> <p>それと、夕方の便については、高校生に聞くと夏場もっとゆっくり帰りたいとの意見がありました。</p> <p>第6便のダイヤ改正を行う豊和・椿海循環については、他の便と比べて大分遅いので、他の便と同じ時間帯に改正をさせていただいた経緯があります。</p> <p>他の市町村では、夏場の便、冬場の便で時間を変更して運行しているところもありますが、今後の検討課題とさせていただきたいと思えます。</p> <p>また、アンケートの取り方についても年に1、2回ではなく、年間を通して車内におけるアンケート方式等も検討してまいりますので、御理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>

委員	このバスは、市の所有なんですか。それとも千葉交通、JRバスの所有なんですか。
事務局	<p>全部で6台のバスで運行しております、その中の1台については市所有のバスを無償で貸与しています。残り5台のバスについては、バス事業者に購入いただいて、そのバスを使用料というかたちで委託料に含めてあります。</p> <p>市の貸与しているバスは、野田・須賀東循環で使用している黄緑色のバスで、千葉交通に貸与しています。</p>
委員長	その他何かありますか。
委員	《無しとの声あり》
委員長	それでは、無いようですので、以上をもちまして議長の任を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
8 その他 事務局	事務局からは特にありませんが、委員の皆様からは何かありますか。
委員	《意見無し》
事務局	<p>無いようでございますので、以上をもちまして、平成23年度第1回匝瑳市内循環バス利用向上対策委員会を終了します</p> <p>午後2時50分</p>